



ちよっこしい話

木島病院報

新年号 Vol. 103

令和3年2月発行
発行：木島病院新聞委員会

コロナ感染症とともに迎えた令和3年

院長 竹内 尚人



新年あけましておめでとうございます。果たしておめでとうという言葉が適当なのかとおもんばかれる年明けとなりました。去年2月に国内で始まったコロナ感染症により、昨年は大変な一年となりました。そしてまだコロナ感染症は収まる気配もなく、一刻も早く安全で有効なワクチンの接種開始が期待されている状況で、明るい兆しはまだ見えていません。更に変異種のコロナウイルスが追い打ちをかけています。幸い今のところ、当院の周囲に感染者・濃厚接触者は出ていませんが、楽観はできません。当院でも昨年11月下旬よりPCR検査を開始して、市中感染としてのコロナ感染症に備えています。

今年はぜひコロナ感染症に打ち勝ちたいと思っていますが、コロナ感染症に勝つ（克つ）とはどんなことなのでしょう。私の考えるコロナ感染症に克つとは、コロナ感染症によって社会環境が全く変えられないことだと思っています。自分も含めて十分に予防対策をとっていても、いつ感染するかもしれない状況になっています。そんな中で具体的に克つとは、もし感染した時に、職場をやめることになったり、住んでいる地域で不当な差別や偏見に遭い、社会生活が困難になったりすることなく、感染症が治ったら平然と元の環境に戻れるような職場・社会になることだと思っています。昨年は流行地域では、感染者やその家族・医療従事者に対する偏見・中傷・誹謗が見られ、いわれのない不当な差別を受けたという話を聞いています。コロナ感染症に打ち克った社会が実現されることを願ってます。

「元気になるための病院」として専門性を生かした、安全安心な医療を提供するということを理念として診療してきましたが、このコロナ感染症危機の中で専門性だけでは立ち行かない状況になっています。状況によっては何が正解かわからず、最善と思うことを信じて行動するしかないような場面に今年は出くわすと予想されます。私たちは今こそチームワークを発揮して、「元気になるための病院」として最善の医療を提供していきたいと誓っています。

今年もよろしくお願いいたします。

日本ハンドボールリーグ 開幕6連勝



させる様にサポートしていきたいと思います。このような状況下ですが選手たちは少しでも明るいニュースを届けようと頑張っていますので、残りのシーズンも是非応援よろしくお願いします。

北國銀行ハンドボール部トレーナー 柔道整復師 畑 圭祐

日本ハンドボールリーグは令和2年8月から開幕しており、リーグ6連覇中の北國銀行ハンドボール部は開幕から無傷の6連勝中です。昨シーズン膝前十字靭帯断裂で試合に出場することが出来なかった2名の選手も今シーズンは復帰して活躍しています。長いリハビリ期間で悔しさや辛さを乗り越えて努力を重ねてきた選手たちの活躍はトレーナーとしてもエネルギーになります。

今シーズンは入場制限があったり無観客試合であったり、いつもと違うシーズンを送っています。その代わりにネット中継が観やすくなっていたり、解説がついて分かりやすくなっていますので『JHLTV』で検索して観戦してみてください。

可能であれば会場で観戦してもらいたいところですが、各会場で入場規制が違いますので、来られる際はホームページで確認してから来場して下さい。

大会を通して怪我を予防しながら、選手たちが少しでも良いパフォーマンスを出



木島病院ゴルフ部新設!!

理学療法士 荒木 恒志



この度、木島病院に数多くある部活動の中にゴルフ部が新しく加わりました。今日まで、各個人が友達や同僚と練習場やラウンドに行く事はありました。ゴルフは個人スポーツなのに互いを励まし合ったり、四季を感じながら出来る特別感、置いてあるボールを打つという簡単に思えるも、思い通りにいかない歯痒さ。その感情の荒波に魅了され『少しでもうまくなりたい、まずはスコア100を切りたい』という目標をもとに木島病院ゴルフ部が発足されました。

ゴルフ部には竹内院長、久門先生とまさに2大巨頭が在籍しており、今後は指導の下、私たちも頑張りたいと思っています。まだまだ実力、実績とも伴っていない未熟者ばかりですが、『七転び八起き』をモットーに研鑽を積んでいきたいです。

今後の活動に関して近況報告をこの『ちょっこしい話』で行っていきたくと思っていますので、これからも木島病院ゴルフ部を宜しくお願いします!



当院で行われている手術

柔道整復師 瀧口 慎太郎



当院での手術は、月曜日～水曜日、金曜日の週4日間行われています。どのような手術が行われているのかを2019年度の整形外科・外科の全手術件数1440件の中から頻度の高い順にいくつかご紹介していこうと思います。重複して受傷されている方もいますので、以下の数字は延べ数になります。

- 1位は240件で、膝の半月板損傷に対する半月板切除術です。受ける方はスポーツをしている若い方が中心ですが、各年齢層に及び、1年を通して最も高い頻度で行われる手術です。
- 2位は148件、膝の関節内にある前十字靭帯断裂の靭帯再建術です。スポーツに復帰される方には必須の手術です。しっかりリハビリをすることによってスポーツ復帰が可能です。
- 3位は130件、膝関節で軟骨のすり減りや、骨の傷みに対する膝人工関節置換術です。
- 4位は66件で膝関節の関節を覆う袋の内側にある滑膜の切除術です。これは半月板と同様に関節鏡で行う手術です。

5位は65件で膝の半月板損傷のうち、再び縫着する(くっつく)可能性がある部分に適応される半月板縫合術です。

6位は44件で、かほく市の藤田整形外科クリニックの院長、藤田拓也医師による腰の椎間板摘出術です。

7位は32件、大腿骨の骨折です。これは高齢者を中心とした股関節の骨折です。

8・9位は外科の手術です。はっとり大腸肛門クリニックからの患者さんで痔核の手術と痔瘻の手術です。

10位は再び藤田拓也医師による脊柱管から出る神経の圧迫を取り除く椎弓切除術です。11位は足首の骨折後に骨接合術を行った人で、骨がくっついた後に金属を除去する手術です。

12位は足関節の中に骨のかけらなどの異物があり、それが痛みや違和感を出す場合に、それを除去する関節ねずみ摘出術です。

それ以降は膝の関節ねずみ摘出術、膝下から足首の骨折の骨接合術、アキレス腱断裂に対する手術、足首の軟骨損傷に対する骨切り術、肩関節にある関節唇形成術、手首の骨折の手術、膝のお皿の脱臼を防ぐ手術、変形性股関節症などの人に行う人工股関節、手足の小さな骨の骨折に対する手術、膝関節の滑液嚢切除術が続いています。そのほかにも患者さんの怪我に応じて多様な手術を行っております。木島病院は、患者さんが怪我を乗り越えて再び元気になれるように一生懸命頑張っておりますので、本年も宜しくお願いいたします。



リハビリ室での新型コロナ感染対策

柔道整復師 小牧 豊和

リハビリ室では新型コロナの流行以前は、入院されている患者さんと外来通院での患者さんが同一の場所で混在してリハビリを行っていました。それを昨年より感染防止対策として、物理療法の機器や間仕切り板で簡易的に部屋の壁を作り、その範囲でリハビリをするようになりました。それに伴い物理療法の機器やリハビリ用のベッドなどの配置が変わっています。また、外来通院の方には病院に入る際の検温、入院されている方は病棟を出る際に、マスクの着用を確認して感染の予防に努めています。

また、消毒の当番を決め、毎日決まった時間になったら椅子や手すり、ベッドや機器の消毒を行っております。必要に応じて移動して頂く事や、消毒液のにおいが気になる事があるかもしれません。

患者さんはもちろん、私たち自身の感染を防ぐための取り組みでもあります。

今後も感染対策を継続して行うことで、感染発生やクラスター感染の発生を防いでいきます。ご協力をお願いします。



秋の避難訓練

消防委員会 作業療法士 丸山 紘範

10月16日に秋の避難訓練を行いました。避難訓練は春と秋の2回実施していますが、今年の春の避難訓練は新型コロナウイルス感染拡大予防の為にすることが出来ませんでした。



春の避難訓練は夜間帯に病棟での出火を想定して、初期消火から消防署への通報、避難誘導の訓練を行っています。今回は代わりに訓練内容をまとめた物を作成し、全職員に回覧してもらいました。秋の避難訓練は3階と4階からはシューター、2階からは避難はしごを用いて、職員が駐車場までの移動方法を確認します。避難訓練は避難器具の不具合や破損等がないかの確認も兼ねており、今回も皆様のご協力のもと、問題や事故なく安全に実施



できました。避難器具は使用しない事が一番ですが、万が一火災が起きた時には冷静に対応できる様に、操作や避難方法の周知に努め、引き続き訓練を行っていきます。皆様も自宅の消火器具や避難方法の確認を行ってみてはいかがでしょうか。

スポーツだより

健康運動指導士 大澤 由依



今回はスポーツリハビリきじまで導入している「クロストレーナー」について詳しくご説明します。

「クロストレーナー」は有酸素運動を行うマシンで、スキーで雪原を歩いたり滑ったりするクロスカントリーのように、足と腕を同時に動かすことで、上半身も下半身も鍛えられる全身運動を行うことができます。

ウォーキングのような足で地面を蹴って踏み込む動きとは違い、ペダルに足をつけたまま運動できるので、股関節や膝が不安な方でも負担なく運動ができます。

また、上半身も下半身もしっかり動かせるので、短時間でたくさんのカロリーを消費できることが特徴です。

基本は足を前回しで動かしますが、後ろ回しにすると後ろ向きに歩いているような動きになるため、普段の歩行とは違う筋肉も鍛えることができます。

特に女性の方に人気です。無料体験などでお越しの際はぜひ一度チャレンジしてみてください！
無料体験をご希望の方は病院受付までお願いします。

介護センターだより

「子どもたちにプレゼント」

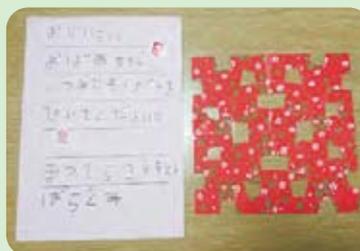
作業療法士 田村 祐惟



きじま在宅介護センターでは今年、松寺こども園の子供たちがきてくれるイベントが新型コロナウイルスの感染対策を考慮し中止となりました。しかし、例年通り、手作り雑巾のプレゼントだけでもしようということになり、利用者の皆さんが雑巾をたくさん縫ってくれました。

直接会えなくても子供たちに喜んでもらえるようにと、雑巾を輪ゴムで留めてクマの形にし、リボンを結び、ラッピングを工夫しました。利用者さんたちは「可愛くできた」「子供たちが喜びそう」と楽しんで作業されていました。

こども園に雑巾を贈ると、子供たちからは写真とお手紙、手作りのコースターがお礼に贈られてきました。我慢の多いコロナ禍ですが、今年も温かい交流ができ、利用者の皆さんも元気をもらうことができました。



職員リレー紹介

ふるぼう ひろこ
▶▶▶ 介護士 古坊 寛子さん



きじま在宅介護センターの介護士をしています。古坊寛子です。

新型コロナの影響で旅行や外出など我慢することが多く、ストレスがたまりやすい状況ではありますが、我が家では5月から雑種のオス犬を家族に迎え入れました。

一年程前から保護犬を探しはじめ、ドッグレスキューから紹介されたのは2才の能登の野犬でした。

飼い始めた時はテーブルの下から出て来ず、ご飯も水も飲まない状態でしたが、1週間程すると、徐々に食べ始め、散歩も行けるようになりました。テーブルの下から呼んで出てくるようになり

なったのは、ここ2.3カ月の話です。他の人に慣れるにはまだまだ時間がかかりそうですが、家族にはすっかり慣れ、散歩やおやつが大好きになりました。

始めて半年が経ちましたが、すっかり家族の一員となり我が家に癒しを与えてくれる存在です。



● 木島病院診療担当医一覧 ●

令和2年10月より、常勤医として整形外科医師の久門先生が加わり、専門分野である股関節外来が新設されました。それに伴い外来診療担当医が変更になっております。診察を受ける際にはご確認をお願いします。

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	黒田 久門 竹内尚(~10:00)	黒田 岡村 竹内尚(~10:00)	久門 竹内尚	北岡 岡村 久門	黒田 岡村 竹内尚(~10:00)	スポーツ外来:北岡 当番制(2名)
	午後	黒田 久門(手術優先)	スポーツ外来:北岡 金沢大医師	医科大医師 岡村(手術優先)	黒田	医科大医師 奥田(手術優先) 股関節外来:久門	
内科	午前	竹内洋	竹内洋・柳澤	坂井	竹内洋	竹内洋・岩男	竹内洋
	午後	正木	柳澤	坂井	医科大医師	岩男	
歯科	午前	齋木	齋木	齋木	齋木	齋木	齋木
	午後	齋木	齋木	齋木		齋木	

編集後記

明けましておめでとうございます！新たな年が始まりました。しかしながら、新型コロナが落ち着いていない今、まだ気を引き締めていかねばならない時期ではあります。感染が終息するその日まで、今しばらく頑張りましょう。

(新聞委員一同)

健康増進施設
スポーツリハビリ きじま

木島病院
TEL (076) 237-9200
FAX (076) 237-9202

きじま在宅介護センター
TEL (076) 237-7111
FAX (076) 237-1199

TEL (076) 237-9200
FAX (076) 237-9202

